

## 「簡単ディスク引越し Kit」テクニカルサポートガイド



「簡単ディスク引越し Kit」の動作検証用に「VSS\_Chk.exe」というプログラムを無料配布しています。本書は「VSS\_Chk.exe」と併用してお読みください。

Q 0.複製したディスクで上手く起動できない。次の画面がでる。

**Reboot and Select proper Boot device  
or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key**

A 0.PC が複製したディスクを起動ディスクとして認識できていません。

起動ディスクとして指定しなおせば起動できます。

1. PC の電源を入れた直後、BIOS(UEFI)の設定画面を出してください。

PCにより異なりますが電源を入れた直後に普通は F2 キー、DEL キー、ESC キーを押すと出ます。押すキーは PC により異なります。

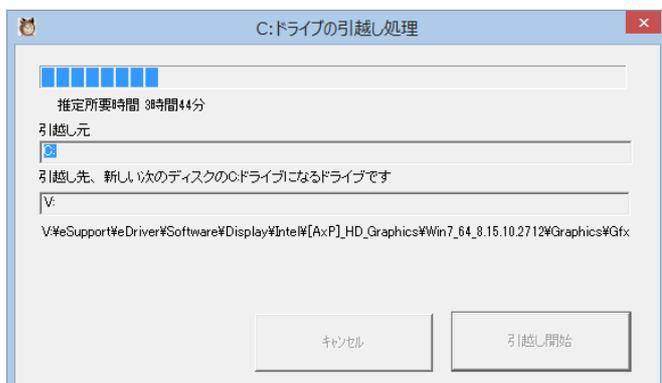
2. BIOS(UEFI)には必ずどのディスクで PC を起動するかを指定する設定があります。

ここで新しく用意したディスクを指定してください。

**Windows Boot Manager (換装したディスクの型式)  
換装したディスクの型式** ← 2つ出る時はこちらを選択。

最近の PC は一つのディスクに2つの入り口が存在します。このように2つの項目が出たならば”Windows Boot Manager(換装したディスク型式)”を選んでください。この障害が出る理由は多くがもう一つの方を自動識別した場合があります。

Q1. Cドライブのコピーの途中で固まる。



A1. 省電力設定を確認してください。

ファイル転送中に節電機構が誤動作すると該当の症状が出ます。  
[コントロールパネル]→[電源オプション]より電源設定を確認できます。  
**電源プランはバランスか高パフォーマンスを推奨します。**

#### 電源プランの選択またはカスタマイズ

電源プランは、コンピューターの電源の使用方法を管理するハードウェア設定とシステム設定（ディスプレイの明るさやスリープなど）のコレクションです。[電源プランの詳細](#)

#### バッテリーメーターに表示されるプラン

- バランス (推奨)** [プラン設定の変更](#)  
自動的にパフォーマンスと電力消費のバランスを取ります。(ハードウェアでサポートされている場合)
- Power4Gear Quiet Office [プラン設定の変更](#)  
Power4Gear Quiet Office

#### 追加プランの非表示

- Power4Gear Battery Saving [プラン設定の変更](#)  
Power4Gear Battery Saving
- Power4Gear Entertainment [プラン設定の変更](#)  
Power4Gear Entertainment
- Power4Gear High Performance [プラン設定の変更](#)  
Power4Gear High Performance
- 省電力 [プラン設定の変更](#)  
電力の消費を抑えますが、パフォーマンスは低下します。
- 高パフォーマンス [プラン設定の変更](#)  
パフォーマンスを優先しますが、電力の消費が増える可能性があります。

Windows の初期設定  
なので一番テストされ  
ていて安心。

トラブルの元である節電  
を否定しているモード  
なので安心。

次のプランの設定の変更: バランス  
お使いのコンピューターで使用するスリープ状態とディスプレイの設定を選択してくだ

ディスプレイの電源を切る: なし

コンピューターをスリープ状態にする: なし

省電力設定をOFF

詳細な電源設定の変更(C)

電源オプション

詳細設定

カスタマイズする電源プランを選択してから、お使いのコンピューターで電源を管理する方法を選択してください。

現在利用できない設定の変更

バランス [アクティブ]

ハード ディスク

次時間が経過後ハード ディスクの電源を切る  
設定: なし

OFFを推奨

Internet Explorer

スリープ

次時間が経過後スリープする  
設定: なし

OFFを推奨

USB 設定

USB のセレクトティブ サスペンドの設定  
設定: 無効

OFFを推奨

既定のプランの復元(B)

OK キャンセル 適用(A)

PC の構成、接続する USB 装置との相性問題を引き起こします。これら無効 (OFF) を推奨します。

- ハードディスクの節電をOFF推奨
- スリープのOFFを推奨
- USB のセレクトティブサスペンドをOFFを推奨

この他、節電機構は一律 OFF を推奨します。

Q2. サービスプログラム「Microsoft Software Shadow Copy Provider」が無効になっている。  
あるいは作動していない。

A2. A4を参照。

Q3. サービスプログラム「Volume Shadow Copy」が無効になっている。  
あるいは作動していない。

A3. A4を参照。

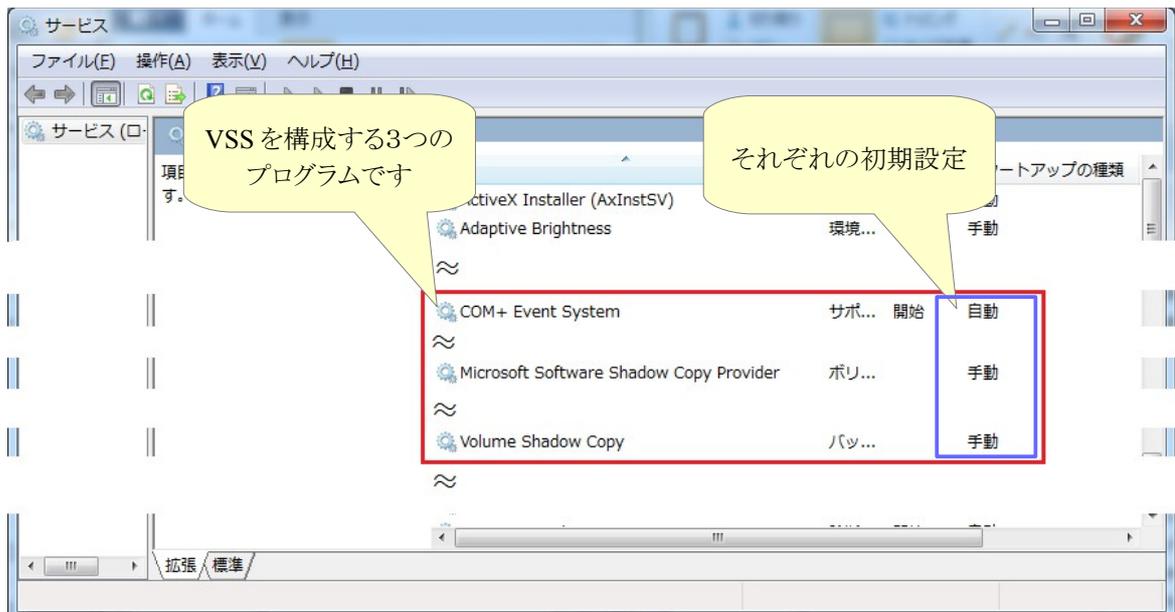
Q4. サービスプログラム「COM+ Event System」がOSの初期設定になっていない。  
あるいは作動していない。

A4. 「簡単ディスク引越し Kit」は Windows の標準機能 VSS (ボリュームシャドウコピー) という機能を使用しています。この機能が停止しているとそのメッセージが出ます。

■ サービスマネージャを起動し確認してください。

[スタート] -> [ファイル名を指定して実行] をクリックして、services.msc と入力してください。次の画面がでます。





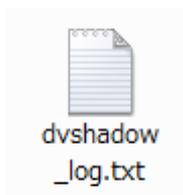
3つのサービスプログラムの設定を確認してください。

- [1]. サービスプログラムのどれか一つでも無効になっていると VSS は作動しません。
- [2]. COM+Event System は自動でないで VSS は作動しません。
- [3]. どれか一つでも欠けていると作動しません。欠けている時は Windows の構成が壊れています。この場合は修復してください。
- [4]. 3つのサービスが初期設定ではない時、サードベンダーのソフトが設定を変更した可能性があります。この場合、サードベンダーのソフトが VSS と機能衝突する可能性があります。サードベンダーのソフトをアンインストールしないと VSS が作動しない可能性があります。

### Q5.dvshadow の実行に失敗しました。

- A5. 本プログラムをダウンロードあるいは解凍しなおしてください。高い確率でファイルが壊れています。あるいは ZIP 圧縮したファイルを解凍せず、仮想フォルダの機能を利用してフォルダとして開き実行しています。この場合、本ソフトの機能は不完全に作動します。

VSS\_Chk.exe を実行して出た場合は "C:\dvshadow\_log.txt" というテキストファイルをメモ帳で読んでください。



高い確率でエラーメッセージが記載されています。

Q6.dvshadow の設定情報の読み取りに失敗しました。

A6. VSS\_Chk.exe を実行して出た場合は、"C:\dvshadow\_tmp.bat"というファイルが出来ます。  
このファイルにエラーメッセージの詳細が書き込まれます。



もし、サービスマネージャが起動している時は、これを終了してください。

- [1]. C:ドライブが痛んでいる場合もこの症状が出る可能性があります。chkdsk をC:ドライブにかけてください。
- [2]. セキュリティソフトが干渉する可能性があります。セキュリティソフトは通常一時的に停止する機能を持ちます。一時的に停止することを勧めます。
- [3]. 常駐ソフトを確認し、必要のない常駐ソフトを停止してメモリ不足を確認してください。
- [4]. Windows にて VSS が正常に作動しているか確認する。  
[スタート] -> [ファイル名を指定して実行] をクリックして、cmd と入力します。次のコマンドを実行します。  
vssadmin list writers  
すべてのライターの状態を目視します。ライターに安定以外の状態の表示を見つけた場合、MS の「VSS ライターのエラー」のサポートを参照ください。

Q7.現在空き物理メモリが少ないです。空きメモリ=xxxxMB というメッセージが出た。

A7. 本ソフトが使用するWindowsのVSSという機能はディスク容量により必要とするメモリ量が異なります。  
MSは一般論として200MB以上の空きメモリの確保を推奨しています。  
余裕を持ち500MB以上のメモリの確保を推奨します。

Q8.”本ソフトは VISTA 以降の Windows で使用できます。XP 以前のシステムでは使用できません。”というメッセージが出た。

A8. VISTA以降のOSにて仕様で着ます。

Q9.”本ソフトはCドライブが NTFS の PC で使用できます。Cドライブが NTFS ではありません。”というメッセージが出た。

A9. 本ソフトはC:ドライブにWindowsを入れているPCで使用できます。

Q10.アンインストールするには？

A10.本ソフトのフォルダの入ったディスクを消去してください。

Q11.インストールした PC とは別の PC で使用しようとしたらライセンスを求められた。

A 11.ライセンス入力した PC で使用できます。

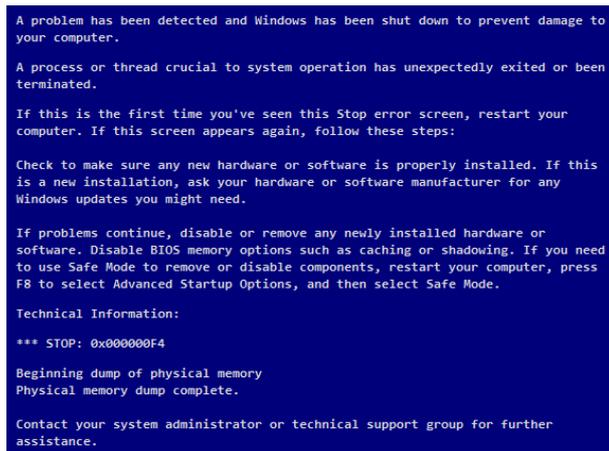
Q 12.ディスクの引越しをしたディスクで、再度、本ソフトを使えるでしょうか？

A 12.引越しと共にライセンスも引継ぎします。従い継続して使用できます。

Q 13.本ソフトの使用権の付いたディスク関連機材を購入したのですが、使用できません。

A 13.本ソフト付属の機材を接続してください。この場合、本ソフトは機材の接続を必要とします。

Q 14.ブルースクリーンエラー 0xF4 が出た



A problem has been detected and Windows has been shut down to prevent damage to your computer.

A process or thread crucial to system operation has unexpectedly exited or been terminated.

If this is the first time you've seen this Stop error screen, restart your computer. If this screen appears again, follow these steps:

Check to make sure any new hardware or software is properly installed. If this is a new installation, ask your hardware or software manufacturer for any Windows updates you might need.

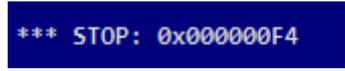
If problems continue, disable or remove any newly installed hardware or software. Disable BIOS memory options such as caching or shadowing. If you need to use Safe Mode to remove or disable components, restart your computer, press F8 to select Advanced Startup Options, and then select Safe Mode.

Technical Information:

\*\*\* STOP: 0x000000F4

Beginning dump of physical memory  
Physical memory dump complete.

Contact your system administrator or technical support group for further assistance.



\*\*\* STOP: 0x000000F4

A 14.この症状は3系統の原因があります。

まずこの時は PC をセーフモードで起動できるか確認してください。

A. セーフモードで起動出来る時。

症状は後述③に該当します。複製元では作動するが新しいディスクでは動かないサービスプログラム、ドライバプログラムが入っています。この時は問題となるプログラムを根気良く調べアンインストールすると解決します。

B. セーフモードで起動できない時。

後述の①、②の嫌疑が濃厚となります。また OS の起動時に無条件に組み込む③のタイプのプログラムが引き起こす場合があります。

①ディスク装置、ケーブル等の障害、あるいは不良

- ・IDE 接続の場合は、マスター／スレーブのジャンパの設定を確認ください。
- ・IDE 接続でマスターを使わずスレーブ接続していると発生しやすいです。
- ・ケーブルの品質が悪いと起きやすいです。

②本ソフトで複製元となったマスターディスクにおいて OS の更新が滞っていた場合に起きやすいです。本ソフトで移行する前に OS に更新をかけ、メンテナンスしてから複製

すると通常は解決します。

③特殊なコピー防止機能の付いたドライバソフトが入っている時。

複製元のディスクでしか動かない仕掛けを持ち、OSの起動時にOSの一部としてOS本体に組み込むソフトが該当します。

本ソフトのユーザより株式会社バッファローの「BUFFALO RAM Disk Driver」というソフトをアンインストールしたら解決したという報告があります。このユーザは合わせて「Buffalo Tools」をアンインストールし解決したとのこと。

このようなソフトを使用している方は、複製前にアンインストールし複製をすることを推奨します。複製後に再度インストールしてください。

#### Q 15. ディスクを交換した後、旧ディスクが認識できない

A 15. ディスク装置の管理情報には一つずつ、ユニークコードが書き込まれています。

本ソフトで複製を作ると、同じユニークコードを持つディスクが2つ出来ます。

Windowsは同じユニークコードのディスクを認識しません。

従い、他のPCに接続しての使用を推奨します。

強制的に使用する場合は、「簡単ディスク引越し Kit マニュアル」5章を参照ください。5章にて強制的にマウントさせる方法を説明します。

この機能を使い、現在認識していないディスクを強制的にマウントできます。

強制マウントしたディスクにもしOSの起動情報があった場合、これは消えて、起動用ディスクとして

使用できなくなります。ご注意ください。